

第8回常任理事会報告

日 時 平成21年12月11日（金）午後2時～午後4時
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人、井出吉信
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、山崎芳昭、福田仁一、
江里口 彰、寺下正道、上西秀則、伊藤公一、
後藤滋巳、栗原英見、荒木孝二、佐々木啓一
日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

黒崎総務理事より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より挨拶が行われた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告（平成21年11月13日～同12月10日）

第7回常任理事会報告（平成21年11月13日開催）

2) 会計現況報告

山崎常任理事より、次の資料に基づき、会計現況報告がなされた。

□平成 21 年度学会会計収支決算書（平成 21 年 4 月 1 日～同 11 月 30 日）

3) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶インプラント義歯の治療指針について

黒崎総務理事より、厚生労働省に提示した標記指針について、資料に基づき報告。

▶「在宅歯科医療」および「摂食嚥下リハビリテーション」の教育基準について

井出副会長より、標記について、各歯科大学（歯学部）長並びに専門分科会及び認定分科会代表者に対して、日本老年歯科医学会作成の原案を送付し、意見を求めているところである旨資料に基づき報告。

▶歯科診療ガイドラインライブラリーについて

佐藤常任理事より、12 月 4 日開催の第 1 回収載部会において、ライブラリーへの掲載申請のあった合計 10 ガイドラインのうち、う蝕治療ガイドライン（日本歯科保存学会）と歯科診療における静脈内鎮静法ガイドライン（日本歯科麻酔学会）の 2 つのガイドラインについて、ライブラリー掲載を決定した旨資料に基づき報告。

残る 8 つのガイドラインについては、申請学会に対し、内容修正等の要請していると補足説明。

▶「内服薬処方せんの記載方法の在り方に関する検討会報告書骨子案」に対する意見募集について

江藤会長より、厚生労働省では標記に対する意見を募集していることについて、本学会専門分科会及び認定分科会に対し情報を提供したところ、各学会より資料記載の意見提出があったことが報告された。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

▶ 歯科医師の専門性に関する資格及び資格認定団体について(日本歯科放射線学会)

江藤会長より、標記について、厚生労働省医政局総務課に対し、本学会より、特定非営利活動法人日本歯科放射線学会を資格認定団体として、また、歯科放射線科専門医を資格名として妥当と認める旨の回答を行った旨報告。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

4) 会長報告

江藤会長より、日歯理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告。

5) その他

▶ 評議員・予備評議員・学術研究委員会委員の交替について

黒崎総務理事より、日本歯科薬物療法学会から選出される標記委員等の交替について、資料に基づき報告。

▶ 中医協報告

住友副会長より、診療報酬改定に向けた中医協における協議経緯について、資料に基づき説明。

▶第26回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」について
佐藤常任理事より、標記集いの開催について、資料提出した事前抄録およびポスターを基に説明。

▶国際歯科研究学会日本部会（JADR）報告

栗原常任理事より、標記について、2009年度第4回JADR理事会の議事次第に基づき報告。

▶「日本の展望－日本学術会議歯学委員会からの提言」について

黒崎総務理事より、日本学術会議歯学委員会より、標記提言に対する意見収集を、本学会傘下の分科会へも要請があった旨資料に基づき報告。

これを受けて、本学会から各分科会に対し、12月21日回答締切により、意見を求めている現状を説明。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

江藤会長より、歯科医療協議会では医療技術の評価・再評価、治療指針の策定、プロジェクト研究成果の臨床現場への還元などを行っているが、診療報酬改定を間近に控えていることもあり、現在のところ、歯保連への特段の対応は予定しないと説明。

また、①次年度はワークショップを2回開催する予定であり、各分科会間の一層の連携を図っていききたい、②歯科診療ガイドラインライブラリーの充実を図っていくこと等を説明。

(2) 歯科医療技術革新の推進

江藤会長より、厚労省では新医療機器・医療技術産業ビジョンの改訂を平成25年に予定しているため、それに向けて、歯科医療機器産業ビジョンの改訂に着手しているところである。

(3) 専門医制度の在り方の検討

江藤会長より、標記については、国民、医療者、学会の各関係者が参画のもと専門医制度の在り方検討会を立ち上げて検討していきたいと説明。

佐々木常任理事より、現行の制度では、専門医認定に係る審査が円滑でなく、また審査工程も見えてこないため、何らかの対応が求められるとの意見があった。

(4) 学会機構の改革

江藤会長より、公益法人制度改革に伴う本学会の対応については、平成22年1月中に開催される代表者会議および第83回評議員会において協議する旨説明。

(5) 国際連携の推進

江藤会長より、日中歯科医学大会の次回大会を2011年に開催する予定である旨説明。

また、ヒョーロン誌上において、外国から日本への留学生が卒業後、どこの国でどのような職や立場にいるのか掲載予定であり、これを基にして、歯科医学会としてどのようなネットワークを構築可能か検討していきたいと説明。

(6) 歯科医学未来構想の構築

江藤会長より、第21回日本歯科医学会総会の学術プログラムの中から中長期的に歯科医療・歯科医学の発展に寄与すると期待される技術等を報告書にまとめている旨説明。

2) 事業計画の推進

(1) 専門分科会資格審査委員会答申の取り扱いについて（認定分科会登録）

黒崎総務理事より、標記について、専門分科会資格審査委員会からの答申書に基づき諮られ、協議の結果、常任理事会として答申内容を了承し、次回理事会で引き続き協議することとした。

(2) 学会第 83 回評議員会の開催について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通りの日程で開催することとした。

(3) ISO/TC106 活動への協力について

黒崎総務理事より、日歯に対し、ISO 会議における磁性アタッチメント規格への対応について、江藤会長及び石上日本磁気歯科学会長の連名により要望することについて資料に基づき諮られ、協議の結果、承認。

(4) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき諮られ、協議の結果、後援名義を貸与することとした。

(5) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通りの役員派遣を承認。

3) その他

○福田常任理事より、既成ガイドラインの記述を補足するようなエビデンスが得られた際の手続きについて質問があった。石井日歯総研研究部長より、ガイドラインの定期的な更新時に反映させること、また、新たに作成するガイドラインに関係項目がある場合は、既成ガイドラインの関係者に第三者評価者として参画いただくのも良いと思われると説明。

5. 閉 会

井出副会長より、閉会の辞。